

第1回IT活用検討委員会の概要

- 1 日時 令和3年4月19日(月) 10:00~10:20
- 2 場所 議事堂第5委員会室
- 3 出席者 委員 永森直人、平木柳太郎、川島国、瀬川侑希、
庄司昌弘、岡崎信也、津本二三男

4 概要

- (1) 委員長の選任
委員長に平木委員を選任、委員長の職務代理として永森委員を指名
- (2) 議会におけるITの活用の推進(事務局から資料に基づき説明)
意見なし
- (3) 市議会のIT活用(事務局から資料に基づき説明)

<主な意見>

- ・タブレット等の仕様を決める際には、不得手な議員の意見を取り入れていただき、より使いやすいものになればよいと思う。それを踏まえ視察先を決めていただきたい。
- ・南砺市は、2017年と早くから導入されているので、より詳しい意見を聴けるのではないかと、また、幅広い年齢層の意見を聴けるのではないかと。
- ・高岡市は、射水市等3市のシステム(SideBooks)と違うシステム(moreNOTE)を取り入れているので、比較対象として、そちらも意見を聴いてはどうか。
- ・マイクロソフトサーフェスは、ノートパソコンにもなり、タブレットとしても使えるものである。
- ・ペーパーレス会議システムのSideBooksやmoreNOTEについては、比較検討できる材料を提示して委員会での検討を進めていきたい。
- ・市議の頃に、ちょうど市議会のIT化について議論をしていた。市議会では、議員はiPadで議案書を見ながら、執行部の説明を聴く、通常、紙だと重要と思ったことを資料にメモを取ることができるが、SideBooksでは、iPadの中でメモがとれ、そのメモも一緒に保存が可能で、後日、改めて、メモ付きの資料を確認できるという機能があった。高岡市が違うシステムを使用しているということであれば、それと比較検討ができる。
- ・議員に選ばれる人は、パソコンができることが前提というわけではないので、できない人にも対応できるような仕組みはしっかり押さえていく、議会活動ができるように配慮していく必要がある。
- ・最初は、ハイブリット型(両方)で進め、それが当たり前になれば、その段階で完全にペーパーレスするという流れだと思う。
- ・いずれは、この検討委員会もペーパーレスで行えるようにしていければと思う。